

港第二育成園 管理者 織田 洋一

今年度の抱負

この度、港第二育成園の管理者として拝命いたしました織田洋一です。宜しくお願いいたします。

福島育成園・東育成園での配属を経て、昨年度までは同じ港エリアのワークスいけじまで勤めていました。今回、大きな施設での管理者ということでドキドキしている部分もありますが、この4月と5月に港第二育成園の皆さんとお話が出来て少し緊張がほぐれてきました。今年度も、新しいことを積極的に学びつつ、今までの経験を活かせるよう頑張っていきたいと思えます。

私のおススメ：ライブやコンサートに行くこと

学生の頃、ライブやコンサートに行くことが好きで、毎月のように行っていました。知らないアーティストが多数参加しているフェスにも知り合いの誘いで行っていたのですが、色々な音楽を体感することで刺激をたくさん受け楽しく過ごせていました。

働くようになった頃からライブやコンサートに行くことが無くなったのですが、家族の理解と後押しもあり昨年の夏ごろから徐々に行き始めています。今年の5月までで9公演に行けたので以前と近いペースで楽しめています。学生の頃からの変化としては、各会場でグッズを購入することも楽しみの一つになっています。写真は購入したグッズの一部で、ライトやタオル、シャツなどグッズを持ちたり身につけることでライブやコンサートの雰囲気にとっぷり浸れる気があります。様々な良い効果があると感じているので、この調子で今後もたくさんの音楽に触れ、気持ちもリフレッシュしていきたいと思えます。



ワークスいけじま 管理者 十川 知巳

今年度の抱負

今年度ワークスいけじまの管理者を拝命しました十川知巳と申します。よろしくお願いたします。昨年度13年ぶりにメープルに復帰しましたが、今年度は7年ぶりの復帰になりました。この7年間で半分以上の方が入れ替わっていましたが長年育成会で勤めさせ

ていただいているおかげで以前どこかで一緒だった方も多くはじめての方が少なかったので違和感なく初日を迎えることが出来ました。

メープルもそうだったようにワークスいけじまも利用者みなさんの平均年齢は高く、下は44歳、上は77歳で高齢化の波が押し寄せています。年齢が上がることに反比例して体力は低下し、毎日通うことがしんどくなる方もおられますが日数を減らしてでもいけじまに通ってられています。ほかにも手が痛い、膝が痛い、とあちこち通院しながらも頑張っていけじまに来られて作業しています。これからも毎日いけじまに通いたい、いけじまが良いと言ってもらえるような利用者みなさんの働く場所、居場所を目指して頑張っていきたいと思えます。

私のおススメ：野球のスコアブック

私の得意分野というか、最近よくしていることが野球のスコアブックをつけることです。子どもたちが少年野球をしているため試合のお手伝いでスコアブックをつけるようになりました。

自分の子どもが出ている試合も出ていない試合もベンチに入ってスコアをつけるのですが先日我が息子がホームランを打ったときにはスコアをつけながらすごく誇らしい気持ちになりました。毎週末練習、試合と頑張っている子どもと同じ空間で過ごせることが今の一番の楽しみです。



居宅介護事業所 管理者 服部 剛士

今年度の抱負

居宅介護事業所に配属となり早4年が経過しました。今年度も引き続き、居宅介護事業所の管理者を拝命することになりました。

昨年度は新型コロナの扱いが変更となり、利用者さまのニーズも戻ってきたことを実感した一年でした。昨今、人材不足がクローズアップされていますが、居宅介護事業所においてもヘルパーの確保が課題となっております。

今年度は報酬改定により、処遇改善手当の見直しもされ、ヘルパーへの手当も増えることとなりました。これを機に一人でも多くヘルパーを確保して、多くの利用者さまに派遣ができるようにしていきたいと考